

## バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】阿賀町バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
41	2010.3.31			新潟県	阿賀町	14,703	952.88
構想の要約		阿賀町は、豊富な森林資源を活用し、間伐材を原料とした木質バイオマスの燃料化に重点的に取り組み、生ごみ等のたい肥化、廃食用油のBDF化を加えた3つの柱を基本として、地域のバイオマス利活用を推進する。					
構想に盛り込まれた事業		堆肥化事業 1.生ごみ 2.家畜排せつ物 3.下水汚泥 木質バイオマス燃料化事業 1.間伐材 2.ダム流木 3.建設発生材 BDF化事業					
バイオマス利活用目標							
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他(ダム流木)	○		
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他( )					

利用するバイオマス変換技術					
マテリアル利用のための変換技術			エネルギー利用のための変換技術		
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○		バイオガス化(メタン発酵)		
飼料化	○		直接燃焼		
バイオマスプラスチック製造			ガス化		
その他( )			炭化		
			固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○	
			バイオディーゼル燃料化	○	
			バイオエタノール化		
			その他( )		

バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

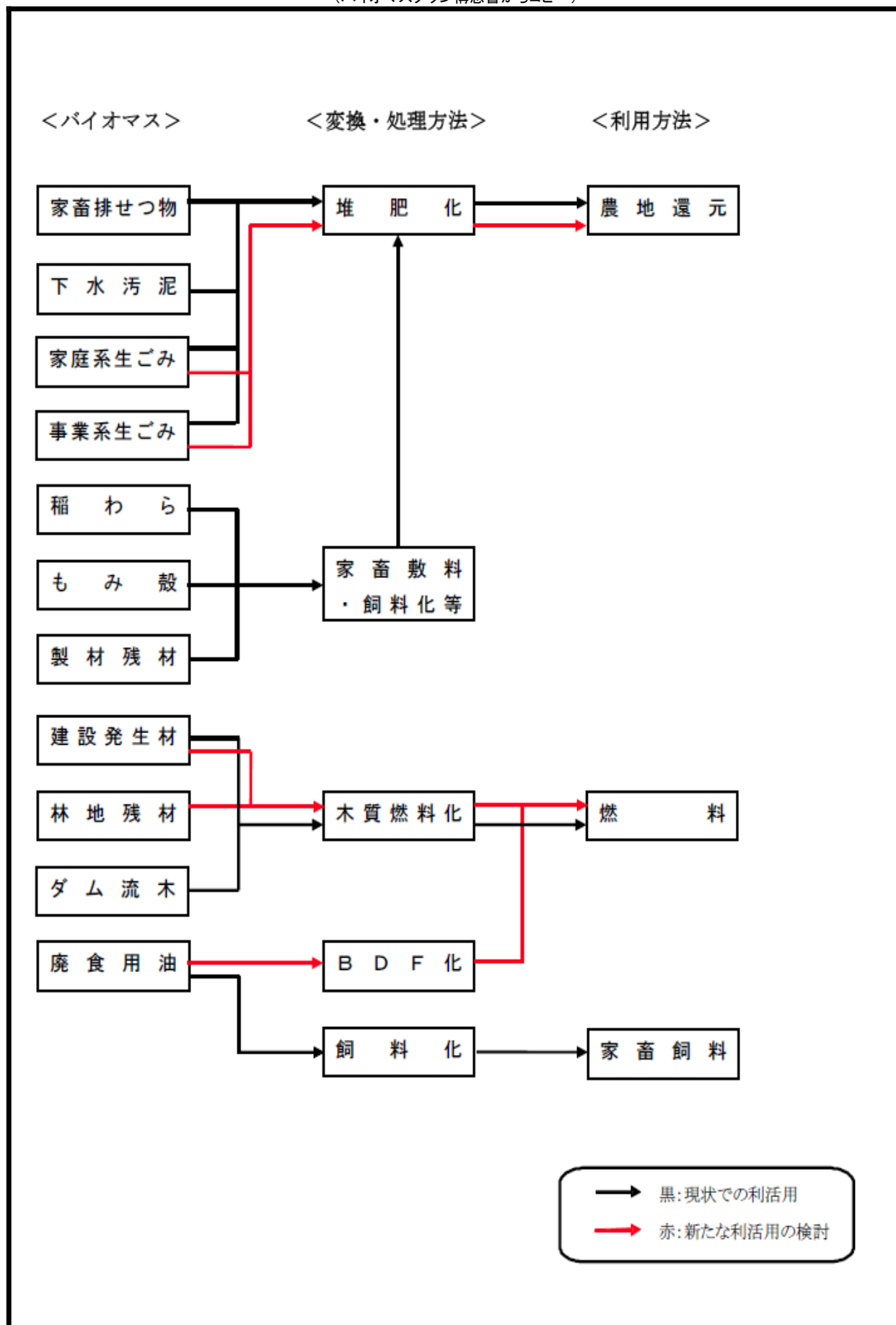
**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

(単位：t/年)

バイオマス	賦存量		現状				目標			
			仕向量		変換処理方法	利用率	仕向量		変換・処理方法	利用率
	重量	炭素換算	重量	炭素換算			重量	炭素換算		
廃棄物系 バイオマス	9,201	1,105	8,579	943		85%	8,806	998		90%
家畜排せつ物(牛)	945	56	945	56	堆肥化	100%	945	56	堆肥化	100%
家庭系生ごみ	269	12	13	1	堆肥化	8%	115	5	堆肥化	42%
事業系生ごみ	83	4	14	1	堆肥化	25%	42	2	堆肥化	50%
下水汚泥	6,818	655	6,818	655	堆肥化等	100%	6,818	655	堆肥化等	100%
廃食用油 (一般家庭)	22	16	0	0	—	0%	5	4	BDF化	25%
廃食用油 (事業所)	41	29	2	1	飼料化等	3%	22	15	BDF化	52%
建設発生材	484	213	248	109	燃料化等	51%	320	141	燃料化等	66%
製材残材	539	120	539	120	敷料等	100%	539	120	敷料等	100%
未利用系 バイオマス	13,161	3,227	1,317	330		10%	2,867	675		21%
稲わら	3,924	1,123	65	19	飼料化等	2%	65	19	飼料化等	2%
もみ殻	786	225	551	158	堆肥化等	70%	551	158	堆肥化等	70%
間伐材 (林地残材)	7,750	1,726	0	0	—	0%	1,550	345	ペレット・チップ化等	20%
ダム流木	701	153	701	153	ペレット化	100%	701	153	ペレット化	100%

# バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)